

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・事業所の理念を職員一同が目につくところに貼りいつも確認でき常にサービス向上を考えるようにしている。地域とのつながりの強化を日々考え協力を得られるような体制作りを始めている</p>	<p>○</p> <p>・地域の方を交えたイベントを増やしたり防火対策についての話し合いの場を増やしたい</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・毎朝朝礼で理念の確認を行っており同じ生活者としてお互い声掛けあい家族の一員として助け合っている</p>	<p>○</p> <p>・日々の入所者の方々への言葉掛けや態度、一人ひとりを大切に接していくことに心がける</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>・毎月家族への手紙を出しホームでの様子、取り組みを理解していただけるようにし町内会会合、集まりやイベントに参加する中で事業所が地域に対してすべき役割をその都度話し理解を深めている</p>	<p>・家族との連絡ノートは理念の浸透に繋がると思う</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・ホーム周辺の散歩、ご近所の方々や挨拶、話をしたりしている。また、パンフレットや名刺を持ち機会あるたびにホームの説明をし遊びに来て頂けるよう声掛けしている。回覧板を通して認知の努力をしている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・近くの幼稚園、老人会、花見等から地域のお祭り、盆踊り等利用者も含め参加し近隣の中学校から福祉体験学習やボランティアの受入れなどし交流している</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域の催し物等に訪ねることで事業所を認知してもらい参加で啓発を図っている。人材育成の為の実習生受入れもしており相互の理解に繋がっている	○	・地域の高齢者を把握し何が出来るかを運営推進会議の場を活かし話し合い地域の高齢者向けの勉強会、誤飲防止法、簡単な体操等から提案してみる
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・運営者、管理者が前年度評価を受けるまでの経過、受け手からの報告を会議の場で説明し、全職員が協力し合う必要性を伝えてきている。改善計画を作成し、すぐ取り組めるもの、長年掛けて改善に取り組むものを分けて少しずつ状況改善に努めている	○	・常に点検見直し、話し合い、実践の流れを崩さないようにしたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・事業所の取り組み内容、改善点等会議の場で報告、説明し、参加メンバーから意見、評価、質問等される事を真摯に受け止めケアに取り込めるようにしている	○	・議事録の回覧、特に会議に参加できなかった職員が目を通す習慣づけをする必要がある
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・市から要請のある介護相談員派遣の受入れを行いサービス内容を知ってもらい、利用者との交流を図る。なお、包括支援センター等で利用できるサービスの情報を入手し利用者家族へ提供し皆が協力し事業所の認知を深めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・今のところ実施に至っていない		・地域福祉権利擁護事業、成年後見制度において職員へ知識を与えるための勉強をしていく必要がある
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・思いがけない事例等も交えて、分かり易い様に勉強会を行い防止に努めている。また、職員会議で細かく虐待例を話し利用者の気持ちを一番に考えた暮らしが出来るよう心がけている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>・常に職員の動向を把握できるよう注視し話し合いの場をもって聞き入れる機会をより作っていきたい</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・なかなか研修の機会が作れていない状況ではあるが、研修に出席した際は全職員が情報共有できるよう職員会議等の場で報告の発表をしたりなるべく参加したいという声を尊重し、勤務の組み換えを考慮している</p>	○	<p>・日々の勤務体制が優先になり、なかなか研修日程に向けて休みを合わせることが難しいが、どんどん声が挙がるよう取り組みたい</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・県のグループホーム協議会に加入し、総会をはじめ研修会等へはなるべく参加するようにしている。連携協力依頼先の他施設への実習や見学など勉強する機会を設けたところ色々な点でヒントになった為、今後も行いたい</p>		<p>・他のホームなどとの交流の機会を増やしたい</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・休憩時間は交代でとるようシフトを組んでいる。親睦会などを通して日頃の発散や職員同士のコミュニケーションがとれるよう図っている</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・職員の資格取得においては勤務体制、本人の希望を重視し職場内で活かせる環境づくりを努めており、職員の健康診断も体あつての業務である為、推進している</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・面談を行い本人の生活状況、意向を基本に少しずつ慣れてもらうよう遊びに来てもらう工夫とイベントのときに声がけするなど環境づくりを行っている</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・家族と本人の生活歴等視野に入れながら、希望に近づけるよう確認しながら支援に当たる</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービ ス利用も含めた対応に努めている	・本人や家族の実情を相談の段階で聞き、他の可能性もあ る場合は支援の見極めとして運営推進会議でも面識のある 包括支援センターでの相談を促したり、他事業所に紹介し たりしている	○	・本人や家族の思い、状況等を確認し改善に向けた支援 の提案、相談を繰り返す中で信頼をより確固たるものに していく
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用 するために、サービスをいきなり開始するの ではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気 に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工 夫している	・本人や家族が事業所をじかに見学することから始め、希望 の方があれば体験入居していただいたり、宿泊や食事も食 べていただきながら進んでいただくことを繰り返すことで環境を整 え本人が安心するのを見計らい移行している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共に し、本人から学んだり、支えあう関係を築いて いる	・本人が不安にならないように話を聞きながらより良い生活が 出来るように工夫して努力している・一緒に話をしながら共 感する・慣れによる介護者本意の場面もいくつかあったが信 頼関係は出来てきていると思う・若い頃の話や歌を唄ったり 聞いたりしながら楽しかった事、辛かった事など思い出話を 聞き共感する	○	・支援する側支援される側という意識を持たずお互いが共 働しながら和やかな生活が出来るように間柄になれるよう、 場面作りや声掛けを続けていきたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支え ていく関係を築いている	・面会時に入居者の生活状況や様子を伝え、情報共有に努 め同じ家族の一員という立場で辛いこと、大変なこと、喜びを 共にしている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、より良い関係が築いていけるように支援し ている	・かわかみだよりで近況状況を知らせ、レクリエーションの参 加を呼びかけ面会時はゆっくりお話していただけるよう配慮 し、一緒に過ごす時間を大事にさせていただくため、支援しよ り良い関係を気付けるよう努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	・家族が来られる方には現状がわかるようにしてある・色々な 機会に話をし相手を良く知り行きたい場所等をいける範囲で お連れする・利用者の友人が遊びに来たり気軽に電話で話 されたりしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せず利用者同士が関わり合い、支え合 えるように努めている	・個人の得意な分野、趣味、好きなこと、嫌いなことを知り興 味を持ちそうな話をもっていき・利用者同士でもめている時 は、一人を責めず両方の話を聞き理解してもらえよう努め ている・利用者が孤立しないように声掛けし利用者同士関係 が円滑になるよう会話を持つ		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・契約終了(長期入院の為)後も、馴染みだったものを持参し話し相手として遊びに行ったり家族の相談に乗ったりしている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・安心、安全を確保してより良いホームでの生活が出来るよう取り組み、希望要望等があれば意見箱に意見を入れてもらおうよう声掛けし、意思表示が困難な方においては家族を交えて検討している		・意思表示の困難な方も、言葉だけではなくその表情や態度からも重いなどを汲み取っていくようにしたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・じっくり話をすることで昔のこと今までの暮らしなどを話していただきその方の生活環境を知っている、知ったことは職員と意見を交換する		・本人、家族関係者から聞き取れるようにしていく
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・ケア記録、引継ぎにより毎日の暮らしなどすべて把握できるようにしている・大体の生活リズムを把握するようにしている	○	・1人で部屋で過ごす事が多い方等には無理強いせず好きなことは何か楽しみを見つけてあげ皆と楽しく過ごせるようにしてあげる
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・入所者が自分らしい生活が出来るようこれまでの生活歴等の話から家族も含めて本人の要望を確認し職員会議の場等の機会に職員全員で計画の見直しをしている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・入所者の状態を踏まえながら家族の面会時に計画の内容を確認しながら状態がそぐわない場合、あるいは家族の要望が変わった場合など見直しの検討をしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・一日のケア記録、ホーム日誌記入し気付いた点気になる点はケアマネージャー、ホーム長に連絡しその日の職員間、朝のミーティング等情報を共有しケア記録に各人のケアプランのサービス内容を見易い所につけ、常に適したサービスが確認できるようにしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・入所者各人に合わせて医療機関の受診、通院等の支援や買い物、催し物への外出、諸々の用事に対応するよう努力している		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・周辺施設だけでなく地域の住民へボランティアの協力依頼をしたり、民生委員に運営推進会議委員になっていただくなど、各種方面の視点で助言していただけるようしている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・お達者クラブでの体操をはじめ、入所者の希望に応じてボランティアの受入れや訪問理美容を利用するなど様々な面で保険外の内容も充実できるよう行っている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進会議に包括支援センターから所長が委員として参加して下さって以降、情報交換のつながりが強化された。また、介護保険に関する相談を受けたり必要性に応じたアドバイス等行っている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・今までのかかりつけの病院、ホーム医師、歯科医など利用者の希望で医療サービスが受けられるよう支援し、職員が付き外部の受診をする為に通院の支援をしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> <p>・専門医との関わりは無いと思う</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> <p>・看護職員に症状等を相談し利用者の方に合った健康管理の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>・ホームとしてどうやっていくかの方針がハッキリと決まっておらず今だ検討中である</p>		<p>・ターミナルケアについての勉強会を希望している・ホームにおいてどこまで出来るかを検討したうえで方針を決定していきたい</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>・ホームとしてどうやっていくかの方針がハッキリと決まっておらず今だ検討中である</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>・「前では○○だった」と言うことを伝え聞くことはあるが具体的な取り組みはまだない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・一人ひとりのプライバシーを大事にして個人的な話、他の方に聞かれないようにしている・トイレ、着替え時のプライバシー保護は意識して行うようにはしているが、扉を開けっ放しの方も見られる	・居室内やホール、廊下などでの普段の声掛けにおいても声の大きさや声掛けの仕方など、更に徹底していく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	・何事も本人にきちんと説明して(できる、できない)自分で一応納得していただく、何回でも優しくお話する・本人が言葉に出して表せない時はこちらから話を聞きだし、希望に近づこう支援している・本人の気持ち、やる気を一番に考えている・押し付けはせず声掛けで自己決定を尊重する	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・だいたいの一日の流れはあるが何事もおしつけるのではなく、相手の考えを聞き出来る時は参加してもらい出来ないときは次回にね、とやわらかく声掛けする	・毎日1人一人のペースは大切にすることが出来ないときは交代で希望に添えた支援をしていく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・身だしなみなど声掛けをするも、1日中洋服など着替えないでいる時もあり理容店は決まっているが、特に指定のある方においては本人に任せている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・本人の自主性を尊重して、料理の得意な方には作っていたり、配膳、下膳、盛り付けや皿洗いなどいただいている・毎日の食事を1人ひとりの好みに合わせるのには叶わないが時々希望を叶えられるよう支援してイベント時は知恵を貰い皆で楽しく過ごせるよう努力している	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・本人の望みがあっても病気や体調を考慮し職員や入居者で話し合い、手作りの菓子等を作り支援している	・お菓子作りの内容を考慮し、カロリーオフなど検討していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・日々の一人ひとりの生活のリズムを見ながらト個人の排尿の間隔等にあわせこまめに声掛けし、人によっては便の事をずっと気にし引きずる人も居るため、個人の居室内カレンダーに排泄のチェックをし、本人も確認が出来るようにしている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・利用者の希望での入浴を行っている(1日おき)・夏はシャワーを浴びるようにしてある		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・昼寝等含めると十分すぎるほどのように見受けられるため、逆に活動の時間を増やせるよう努め、本人に任せて眠いときはその場所で休んでいただいたり、お部屋の誘導をしたり、一人ひとりの部屋が個室の為、休息し眠れるようになっているが周囲も静かに出来るよう支援している		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・毎日の遊学で体操、歌などを取り入れて利用者1人1人にあわせた行事を行うようにしてある・パズルや料理、庭掃除、洗濯物干し、たたみ、新聞を読むのが好きな方にはその日の変わったことが載っていないか教えていただく		・「何もしていない時間」もまだあり、入居者が何でも出来る環境づくり、用具の準備なども進めていきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・利用者の方で自分で管理できる方は自分で買い物(パズルや食べ物など)に行かれる・好きな食べ物を買いたいと希望があれば体調に支障がなければ買い物に付き添いしたり代わりに買ってくる		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・日常的に戸外に出かけられるようにしてある・買い物や季節の行事に合わせて外出したり、天気が良ければ近くに散歩に行ったりして(入居者の希望の場所に)、場所によっては車椅子で困難であってもスタッフが支援し平等に機会を持ってもらい出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・行きたい場所を入居者から情報をもらったり家族にも呼びかけ花見に参加していただいたり、食事会、舟の見学などホームで計画したり本人の希望等で外出の支援をしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・利用者が自ら電話が出来るようにしてある(出来ない方は職員の方が対応する)・手紙等は本人が作成に困難な場合は職員が支援しているが、暑中見舞い、年賀状等時候の手紙は欠かさず皆で協力し取り組んでいる		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・家族、知人等の訪問は大歓迎で特に、面会時間も定めていない為、都合の良い時間帯に来て頂けるよう協力しながら、利用者も快く迎えられるよう職員で支援している		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束は会議などでも話し合いを行い、しないケアに取り組んでおり、わからないことは報告、連絡、相談を心がけている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・使用者の方々が中庭などに出られて散歩をされたり出来るように支援し、本人の様子を見ながら希望通りの行動をなるべくさせている。鍵においては利用者に着しく害がある場合を除き鍵をかけないケアをしている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・行動を把握して記録なども見えるところで声掛けがすぐ出来るようにしている・個室で過ごされている時は職員が連携し声掛けを常にし様子を見守り、又、夜間も巡回しながら各人の状況把握に徹している		・そのときの状況によっては注意が向いていないこともある為、職員一人ひとりが常に入居者の動きを頭に入れながら行動する
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・全てを取り除くことはせず一般的な保管場所としてさりげなく整理しておき、入所者がいつでも使用できるようにしているが、洗剤、掃除道具は倉庫に直し特に洗剤類はカーテンをして保管している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・転倒などには事故防止の為に利用者の状態に応じた対応はされている・消防訓練年2回と散歩や外出時の見守りを重視している。なお、過去事故を起こしたケースを職員全員で情報共有し、どのような場合が危険因子となりうるか常に話し合いを行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・医者による緊急時医療講習会を受けている・消防署による心臓マッサージ、人工呼吸、など救命訓練を行っている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・災害時の避難が出来るように利用者がスムーズに出来るような方法を身につけている・消防署の訓練(消火器の使い方、避難経路の確認、避難の仕方)や地域の方々との協力を運営推進会議や町内会への回覧板で呼びかけている・定期的な訓練では意識しているがより、意識向上を努めていきたい		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・家族の希望では車椅子よりなるべく自立させ歩かせて欲しい、その為に見守りを、とあるが、目が届かないところでのつまづき、やむをえない場合は転倒骨折のリスクを話し、本人の意向も尊重しつつ、事業所の取り組みを説明し理解を得られるよう努めている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・身体の異変を確認するためのチェック点(朝のバイタルチェックや食事、入浴時)はいくつかあるが、それだけでなく顔色、表情を見ながら状況の把握に留意し、異変に気付いたらケアマネジャーに報告し指示を受け当日の職員に伝える・自ら訴えられない方への発見に努め対応していきたい		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬ファイルは作成し、職員が把握できるように用法や用量を確認できるようにしているが、なかなか一人ひとりが使用している薬の目的、副作用までの全員の理解はされていない。下剤を飲んだらいつ便が出たか白板に記入しその日の当番同士声掛けしている・服薬される時は見守り確認している		・与薬忘れの無いよう複数回の薬箱・薬袋のチェックを徹底し、利用者が確実に服用したかの確認を怠らない
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・安易に下剤を与えず水分の声かけ、運動は日々のレクリエーションの時間に体操や散歩を取り入れている(便が出たら本人のカレンダーに記入し安心してもらうよう努める)・排便の日時を把握し日数が経過している場合は服薬をし常日頃より水分の引用を進めている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・各自の部屋に口腔ケアのチェック表を貼り自分で出来ない方は職員が入れ歯を洗ったり、口の中をすすいでいただく		・入居者に向けた口腔ケアの説明があると良い

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・水分量が確保されていない(利用者がなかなか摂取されない)・一人ひとりの様子を見て声がけし野菜を残していたり、低栄養になりがちな方には一口でもといたしながら少しでも量を増やしてもらう・食事摂取状況はチェック表で毎食事確認するようにしている		・地域の栄養士や保健師に献立の点検を年に何度かしてもらえるよう検討したい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・施設や用具の消毒を徹底的に行い、感染症に関する情報収集を早めに行っている。なお、入所者及び家族の同意をえてインフルエンザ予防接種を受けたり、玄関口にマスク着用(外からの感染をなるべく抑えるよう)の依頼を掲示するなどしている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食材はその日のうちに使い切り後日に残されないようにしてある・調理用具等も使用前は煮沸を行っている・夏は特に生ものを避け、早くから盛り付けをしない・布巾などは特に別に洗っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・建物周囲にもプランターなどを置いて(玄関)安心して出入りが出来るようにし、常に美味しい空気が吸えるような状況にしている・玄関はいつも鍵をかけず近隣の人等から見えるように低い柵になっており、アットホームな感じを出すため入口には手作りのトルペイントで案内板を出している		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居間に不快な光が入らないように高い窓にシールを張っている・季節の花や入居者の描いた塗り絵や習字を貼っている・共用の施設は気配りし清潔に心がけ空間に緑の木を置く・台所は対面式になり各居室へ調理の音やにおいが届くような開放的な作りとなっているため、入所者の五感をくすぐるような生活になっている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・利用者が過ごせるようにソファなどを置いて思い思いに過ごせるようにしてある・パズル好きの人にとって指定席を作りいつでも出来るよう設置している・食事の場所を時々入れ替えている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・利用者が居心地よく過ごせるように本人の意見など聞いて工夫している・タンスの上やベッドの上に本人の好きなものを飾ったり、カーペット、ござを床に敷き、ゆったり過ごせる自分の部屋であることを認識していただいている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・各部屋で換気を行い本人に合った調節はしている・個室には全室窓が付いており空気の通りもよい。又、入所者の体調(発汗や冷え)に気を配りながらクーラーだけでなく扇風機に切り替えたり調整している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下、浴室、トイレを基本に手すりは設置し入所者に使いやすいよう設計し、自立の為の手助けとして手すりを使い一人で歩かれるようにしている・段差もない・自力で歩いていただくよう声がけしている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・困っていらっしゃる時ゆっくり話を聞く(相手の立場になる)		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・外回りにソファなどを設置して利用者が楽しんでいただけるようにしている・散歩できる中庭があり、途中休憩用の椅子が色々な場所にあり花を眺めたり空を眺めたり楽しんでおられる		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設して丸2年半を迎え、初めてのことが多々ある中で、試行錯誤しながら入居者の方々と悩み、悲しみ、笑い、楽しみ、色々な事を一緒に分かち学ぶ毎日です。これまでの生活の延長となるよう束縛の無い、自由で個々の人格が否定の無い日々の支援が出来るよう、職員一丸となって学びながら取り組んでいます。一昨年より去年、去年より今年、と少しずつ自分達なりの成長は遂げていると思っています。入居者の方々、並びにご家族が希望されるサービス内容を充実できるように常に初心に戻り精進していきたいと思います。